

2025年度 葛飾区医師会 ACP研修会

# 多職種連携によるACP

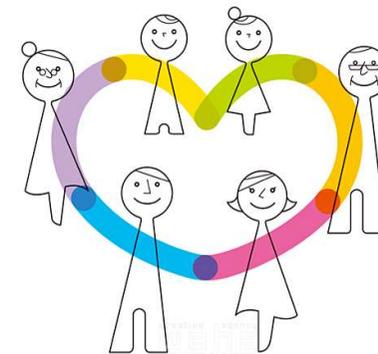
～決定を支援するのか、理解を支援するのか～



2026年3月2日(月)  
訪問看護ステーションはーと  
訪問看護認定看護師  
富岡 里江

# 本日の内容

- 意思決定支援のポイント
- 多職種連携で行ったACPとその課題
  - ・意識障害となり気管切開したAさん
  - ・最期まで独居で暮らした認知症のBさん
  - ・外来で決められなかったCさん
- まとめ



ACPがうまくいったと感じるのは、どんな時でしょうか？



## 意思決定支援のポイント

意思  
形成支援

意思  
表明支援

意思  
実現支援

事例Ⅰ  
意識障害となり  
気管切開したAさん



## 事例Ⅰ 意識障害となり気管切開したAさん

## 事例Ⅰ 意識障害となり気管切開したAさん

支援  
形成  
支援

日常会話の  
中で、  
希望を語り  
整理

支援  
表明  
支援

家族や  
関係者  
共有

支援  
現実  
支援

本人が意思  
表示できなく  
なった時の  
代理意思  
決定

## 事例Ⅰ 意識障害となり気管切開したAさん

ACPは、日常にある

# 事例2 最期まで独居で暮らした 認知症のBさん



## 事例2 最期まで独居で暮らした認知症のBさん

## 事例2 最期まで独居で暮らした認知症のBさん

意思形成支援

残存意思の  
整理

表明支援

家族や  
関係者で  
共有

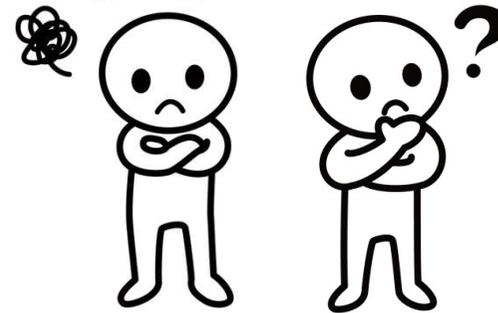
実現支援

本人、家族の  
希望に沿った  
療養場所、  
ケア方針の  
決定

## 事例2 最期まで独居で暮らした認知症のBさん

繰り返し話し合えたこと自体に価値がある

事例3  
外来で決められなかった  
Cさん



## 事例3 外来で決められなかったCさん

## 事例3 外来で決められなかったCさん

支援  
形成  
意思  
援助

在宅で  
理解を促す  
(模型を使って)

支援  
表明  
意思  
援助

家族・  
多職種で  
意志の確認  
目標を共有

支援  
実現  
意思  
援助

希望通りの  
療養

- ・胃ろう造設
- ・苦痛緩和
- ・お別れパーティ
- ・最期まで自宅

## 事例3 外来で決められなかったCさん

ACPは決めさせることではなく、  
理解を支えること

# 多職種連携におけるACPの本質

## 日本緩和医療学会

ACPは、  
本人が、家族等や  
医療者との繰り返さ  
れる対話の中で  
「本人の価値観や  
大切にしたいことを  
明らかにし、それに  
基づいた生活や  
医療・ケアの内容を  
話し合い、最期まで  
自分らしく生きるこ  
とを支える取組のこと」

- 日常性  
特別な場面だけではない
- 揺れを許す  
一度決めたら終わりではない
- 理解を支える  
決断を迫ることではない  
意志が出せない時も支援する

厚生労働省：意思決定支援の基本的考え方～だれもが「私の人生の主人公は、私」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001131602.pdf>



# まとめ

- 何かの治療や処置をやるやらないの問いではない

やり遂げ  
たいことを  
支える

- 日常からの意志形成支援
- 多職種での意思表示支援
- 希望に沿った意志実現支援

生ききる  
ための  
支援

- 命をどう延ばすかではなく、どう生ききるかを支える対話

揺れを  
受け入れ  
る対話

- 医師の説明を生活文脈で翻訳して支えるのが、在宅チームの役割

理解を  
促す

ご清聴ありがとうございました

